

中華民國

國民革命忠烈祠簡介

A BRIEF INTRODUCTION TO THE NATIONAL
REVOLUTIONARY MARTYRS' SHRINE

中華民國國民革命忠烈祠に関するブリーフィング





中華民國國民革命忠烈祠に関するブリーフィング。

只今より我が中華民國國民革命忠烈祠に関するブリーフィングを行います。

本忠烈祠は民國五十八（一九六九）年三月二十五日に落成し、その面積は一萬五千余坪、建て坪約千六百坪有ります。

大祭典或いは貴賓達の供花を受ける場合の外は、全年を通じて開放し、自由に中外の人達の参観に供して居ります。その時間は毎日の午前九時から午後五時までと致して居ります。

一、全祠の建築物は次の通りです。

(一)大門及び鳥居：

六階建てビルの高さに相当し、莊嚴としてその雄姿を見せて居ります。

(二)休憩所：

祠内広場の左右兩側に位置し、右は貴賓休憩所、左は長官休憩所となつて居り、建築形式は同じであります。

(三)鐘鼓の樓：

山門前の左右に位置し、右は鐘樓、左は鼓樓であります。國家元首が主祭する時には鐘鼓を鳴らし、その音が辺りの山巒に木霊します。

(四)山門：

山門前には石獅子が一對有り、各各大理石丸ごとで彫刻されて居り、雄獅子と雌獅子とに分れて居ります。山門の門の上には盛り上つた六角形の物体が四つありますが、それは門眼と言うもので、古代では宮城は四つ、宰相府では二つとなつて居り、それ以下の官位では官邸には門眼が設けられないものです。

(五)文、武烈士の祠堂：

門の方から向かつて右は文烈士の祠堂で、左は武烈士の祠堂です。前者は國家の為に犠牲になられた軍人以外の烈士達を祭り、後者は軍人烈士達を祭つたものです。

丙 大殿 :

北京太和殿に倣って造られにものごあり、戸、窓、天井が木造である外、その他は鉄筋コンクリートで構成されて居ります。殿内では広壇が設けられて居り、烈士達の総位牌を安置し、龕前には祭壇一式が並べられ、両側には音楽台が有ります。殿内の高さは十七メートル、屋根の高さは二七・一六メートル有ります。

二、文烈士位牌の設立 :

位牌の置き方はその階級と職業を問わず、烈士達が犠牲になられに時間の前後に依って排列し、開國、討袁、護法、抗日、戡定作戦等に區分して祭られ、單獨の位牌は各各その指揮領導に當つに烈士達或いは特殊に貢獻の有つね烈士達です。

三、武烈士位牌の設立 :

武烈士祠堂内の個人位牌は將官或いは追贈された將官で、集体位牌は佐官と尉官です。下士官と兵士は各時期に區分されて總位牌として祭られて居り、その姓名は名冊に記入されて箱の中にしまわれて居ります。

排列の順序は東征、北伐、平定、剿共、討逆、抗日、戡定の各戦役となつて居ります。

